

めいわくな時代

今こそ考えるべきデジタル・クライシスの話(1)

文 佐々木寿郎

text by Toshiro Sasaki

5 月13日、株式会社ファーストリ

テイリングがサイバー攻撃を受けました。公式サイトによると、同社が運営する「ユニクロ」および「ジーユー」の公式オンラインストアにおいて、第三者による不正なログインが発生したそうです。登録されていたアカウントのうち、約46万件が被害にあつたと発表されました。

2020年のオリンピックを前に、日本ではデジタル領域におけるリスクが高まっています。損害を最小限に抑えるため、可能な限り対策を講じておくべきでしょう。

ただ、デジタル領域の対策は専門性が高く、知識がないと対応できないとお考えの方もいるかもしれません。しかし、必ずしもそうとは限らないのです。

今回ファーストリテイリングが受けたのは、リスト型攻撃と呼ばれる手法のサイバー攻撃でした。これは、ある1つのサービスで漏えいしたIDやパスワード情報を元に、他のウェブサイ

トへログインを試みる手法です。

その性質上、リスト型攻撃への対策には、IDやパスワードの変更が有効です。ウェブサービスごとに異なるIDとパスワードを設定したり、推測が困難なパスワードを設定したりすることで、第三者による不正ログインを防ぎやすくなります。いずれも、誰もがすぐに実施できる対策ではないでしょうが。

実は、ネット炎上に代表されるデジタル・クライシスにも同じことがいえます。

不適切な顧客対応やバイトテロによるネット炎上は、タークウェブのモニタリングやSEO対策とは異なり、デジタル・クライシス対策の専門知識がなくとも防げます。主な対策は、徹底した従業員の行動管理や、顧客対応マニュアルの整備などです。サービス品質の向上が、デジタル・クライシス対策に直結するのです。

デジタル領域のトラブルには、日々

の地道な取り組みで防げるものも多くあります。取り返しのつかない損害を生む前に対策を始めましょう。

もし、なすべきことは分かっているが手が回らない、という方がいらっしゃいましたら、デジタル・クライシス対策の専門家に相談していただくとよいかと存じます。

Profile

シエンプレ株式会社 代表取締役社長  
1976年、長野県生まれ  
2009年 シエンプレ株式会社取締役に就任し、ネット上の風評被害対策、webリスク対策を立ち上げる  
2012年 同社代表取締役に就任  
2014年より警察庁のサイバーパトロール業務を受託し、  
2015年には業界団体一般社団法人WEBリスク対策事業者協会を立ち上げ、代表理事に就任。業界の健全化に取り組んでいる

SIEMPLE

